



第 28 号  
2012.6 発行

巻頭言

理事長 児島 百代

東日本大震災——日本をゆるがしたあの日から一年が経ちました。あの怖い大震災と津波の被害に遭遇された皆様は一年経った今でも深い悲しみと苦しみの中に日々を過しておられることと思います。

私自身六十八年前、中学に入学したばかりの五月に青山の自宅で東京大空襲を受け、一夜にして焼野原となり幸い命を取り止めた私は焼死体の転がる中を茫然とさまよった事を思い出しました。でも日本人はその中から立ち上って、国の再興のために必死で働いて今の平和な日本を立ち上げました。今回は地震と津波という大自然の力を思い知らされた災害でしたが被災された皆さんも日本人全体の協力と底力できっと元気な東北を再起して下さると思います。

幸い鎌倉は歴史的建造物も大きな被害を受けることなく何とか日常を取り戻すことが出来ました。

鎌倉合唱連盟も皆様のご協力のお蔭でつつがなく例年どうり行事を終える事が出来ました。

今年度も鎌倉合唱連盟千五百人声を合わせて歌い日本の元気を取り戻しましょう。

つづてソングの集い

in 建長寺

副理事長 佐藤 ゆり

「つづてソング」は福島の人和合亮一氏が震災直後からツイッターに書き続けた言葉に、本合唱連盟の定期演奏会に講師をお願いしたこともある新実徳英先生が作曲をした曲です。合唱連盟の各団にもご協力いただき、おかげさまで本堂にいらっしゃる方々で演奏会にはまずソリストによって六曲歌われ、同じ曲を会場のお客さまが新実先生のご指導で練習し、それから松原混声合唱団がその曲を演奏しました。

この日は鶴岡八幡宮、鎌倉仏教会、鎌倉キリスト教諸教会の宗派合同追善法要が建長寺で執り行わ

れました。この法要に先立つ時間で、演奏会が開かれました。演奏が終わって二時四十六分に国宝の鐘が鳴らされ全員黙祷いたしました。会場には福島から鎌倉に避難している方々もいらつしやいました。音楽を通して亡くなった方々を偲び、被災された多くの方々を心寄せ、他人ごとではなくこの大災害にかかわった時間でした。この日建長寺には、二千人以上の人が集まり、気仙沼からの出店の品々も良く売れていました。出演者は全員ボランティアで収益八十余万円は、陸前高田市の「櫻ライオン311」の活動に寄付されます。

平成二十三年の

演奏会について

副理事長 丸山 孝之

昨年は、東日本大震災の影響もあつて、練習場の確保もままならず、長期間に亘る練習の成果の発表の場である演奏会を中止せざるを得なかった団体もありました。

七月十七日開催予定の第四十七回合唱連盟定期演奏会も、準備段階からさまざまな困難に直面しました。

電力事情により夜間の公共施設の使用が難しく、理事会の開催もままならず、演奏会のお知らせが例年より遅れ、その後の電力状況によつては、開催不可能な場合も考慮せざるを得ませんでした。

更に計画停電の中断に伴い、代表者会、準備会の会場を学習センターに戻す手続きがあり、加盟各団の皆様にも大変ご迷惑をおかけしてしまいました。

幸い定期演奏会は予定通り開催の運びとなり、参加団体も二十八団体と例年並みでした。

講師には中村義春先生、佐藤美紀子先生をお招きして講評をいただきました。又聴衆の皆さんによるミニ講評も多く集まり、各団に参考意見としてお渡ししました。



ご協力頂いた皆さんにはお礼を申し上げます。

又、前年に引き続き座席指定制を採用した結果、より多くの方々が夫々の団の演奏の前後にも他団の演奏を聴いて下さいました。

十一月六日開催の第五十三回鎌倉市民合唱祭は四十一団体、延べ八百八十七名が出演する盛況でした。「鎌倉市歌」の他、市制施行七十周年記念に制定された新しい鎌倉市愛唱歌「夢ひかるわれらの鎌倉」の全員合唱も行いました。演奏曲目も親しみのある曲や楽しい曲が多くその為か一般市民の聴衆も多く来場されたようです。合唱連盟加盟団以外の団の特別出演もあり、市民合唱祭に相応しい盛り上がりでした。

平成二十四年の演奏会は、合唱連盟定期演奏会が七月二十九日(日) 鎌倉市民合唱祭が十一月四日(日)の開催となっております。今年も多くの団が出演されますよう、又本番に向けて益々研鑽されますようお願いいたします。

## 定期演奏会の講評について

湖畔コーラス 本坂美奈子

三十数年を経た団ですが、ずっと講評が頂ければと提言したこと

もありません。仲々実現しなかったものです。ここ数年定期演奏会で講評がうけられるようになったことは格段の進歩だと思えます。

講師の先生方にお願ひしたいことは、この団はどういうことをしたら成長していくのかということとをぜひ書いて頂きたいと思えます。辛口の講評ぜんぜんかまいません。先生方のご意見をとり入れますますやる気がわき、年にめげず、ずっと歌いつづけていきたいと思っています。ぜひよろしくお願ひいたします。

## 男声合唱団牧神の誕生

代表 遠藤 恵紀

男声合唱団牧神誕生のきっかけは、混声合唱団ムジカおさらぎの第二十周年記念演奏会でした。

ムジカおさらぎには、鎌倉のどの合唱団より男性の数が多いいです(当時六十名以上)。それで二十周年の記念に男性だけで特別演奏会を企画し、大成功を取めたのです。ただ、この企画はこの年だけで、次はありません。そこで私たちは、かねがね佐藤先生の男声合唱をやってみたいというお気持ちを伺っていましたので、これを機会に本格的に男声合唱団を結

成しようとして提案したので。

実は、以前に佐藤先生の指導で、ジョヴァーニ二という男声合唱団があつて、八、九名ほどの人数で、古い時代(十六世紀以前)の宗教曲などを練習していたのです。合唱連盟にも登録していたのですが、なかなか成果が上がらず、合唱連盟の演奏会にも、一度も出演することが出来ずに残念な思いをしていました。

そこで、この合唱団を発展的に解散し、新しく宗教曲ばかりではなく、いろいろなジャンルの曲を練習曲に取り入れた本格的な男声合唱団発足することになったのです。その名も、佐藤先生が命名された「男声合唱団牧神」。「パン」とは、ギリシャ神話の中の農牧を司る神様のことですが、常に美しいニンフ達に囲まれて笛(パンの笛)を奏でているのです。つまり音楽と深く関わっているわけです。最初は、ムジカおさらぎの男性有志数名と外部からの参加の十三名ほどでスタートし、練習用会場の確保など苦労しましたが、先生方の献身的且つ熱心なご指導により現在は団員数も増え順調に練習を重ねています。

「パン」は、昨年の九月で創立三周年を迎え、第一回の定期演奏会を開きました。最初の演奏会ながら、指導者はじめ多くの方のご支援により、皆様に祝福されて、大成功に終わりました。今年は、また気持ち新たに、しっかりと基礎の実力をつけるため、基本の発声法の勉強を始めています。

そして、来年には第二回の定期演奏会を開きたいと頑張っています。現在、団員数は三十余名ですが、更に重厚な響きを創るため、男声合唱に興味がある方の参加をお待ちしています。

## 鎌倉市民合唱祭に参加して

アンサンブルコーラージュ 高島 一

連盟未加盟のわが団が、合唱祭に参加できるとわかったのは、ほぼ開催三ヶ月前、申込書のメールを送信したのは、締切の直前、出演申込受付の返信を頂いて、さてどうしようと成りました。結成五年馬場幸子、坂元陽子両先生のご指導でボランティアの演奏活動をしてきましたが、年初に浦畑博美先生を迎え、加えて、はじめての公式な合唱祭出演となったわけですから。さて鎌倉芸術館大ホールは魅力でした。更に四十一団体も



の参加も圧巻でした。そしてジュニアからシニアまで各合唱団のバラエティに驚きました。市民合唱祭にふさわしい楽しさでした。わが団は、練習中のホームソングオーストリア編を短縮して歌いました。未完成での発表でしたが、ローレライ、野ばら、ウイーンわが夢の町の楽曲が持つ癒しの力が少しでも感じていただけたら、歌う者のこの上ない喜びであります。お蔭様で、市民合唱祭で聴いたと言う方の問い合わせもあり仲間も増えていきます。今回、鎌倉合唱連盟の皆様と同じステージに立てたことを感謝し、合唱祭の実施に示された鎌倉合唱連盟の皆様のご努力に対して心からの敬意を表します。

## 新規加盟合唱団の紹介

### 合唱連盟に加入して

クールドゥセール 深津 智子

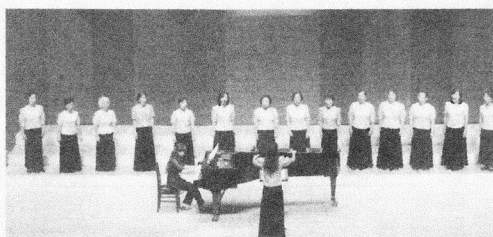
「クール・ドゥセール」は昨年秋に加盟させて頂きました。宜しくお願ひいたします。団員十六名の女声合唱のグループです。毎月三回、水曜日の午前中、西鎌倉山自治会館で練習しています。

指導者は荒井恵美先生です。発

声は、時間をかけて丁寧に教えて下さいます。また歌うときは、音程を正しく取り、他のパートの音を意識して、和音を感じるようにという基本的な注意があります。未熟な私たちですが、先生の熱心な指導に引き込まれ、美しいハーモニー作りのために前向きに取り組んでいます。そのような歌好きを私達ですので、これからも音楽をとおして交流をはかり、楽しい時間を共有して行きたいと思っています。

先日の合唱祭に参加して、多くの団体が一生懸命演奏している様子を拝見いたしました。私達は初めてということに緊張して、思うような演奏は出来なく残念でした。いつか、合唱祭の舞台で満足

のいく演奏をすることを目指して、歌って行きたいと思



## 本番前の楽屋裏

### 事務局

九時、大ホール楽屋口より当日使用するものを運び込む。場所は楽屋3。まづ長机を出し、受付を作り、各場お手伝いの名札の入った袋を並べる。舞台の裏方さんにご挨拶。ハサミ、テープ（粘着）を持ち、各練習室に時間割りを貼りピアノ、譜面台のチェック。九時三十分、舞台口では調律が始まる。十時になるとプログラム到着。一番から10番までの団の枚数を楽屋に残し、あとは台車に乗せホールの受付へ持って行く。この時各団演奏会のチラシをプログラムに入りたい団は団員に差し込んでいただく。各お手伝いの場に椅子を置く。十時三十分お弁当到着。大ホール入口に定期演奏会、市民合唱祭の縦看板を立てる。二階正面に録音の準備をする。一番から10番までの団のプログラムを袋詰めにし、各練習室の机の上に。十一時、手の空いている人から食事を。十一時三十分調律終了。会計さんの出番です。前半のお手伝いの方々到着、持場に付いていただく。舞手下手、上手担当の理事は始動開始。十一時五十五分予鈴よいよ本番、十二名の理事、本

日も事故のない様にと祈りつつ一日中各団の美声を背で聴き、館内を走りまわる。

## 加盟各団の活動状況

### \*鎌倉市民混声合唱団

平成二十四年七月十四日

鎌倉生涯学習センターホール

第二十六回定期演奏会

### \*ジュニア合唱団なぎさ道

平成二十四年八月五日

鎌倉芸術館大ホール

平成二十四年十二月二日

鎌倉芸術館大ホール

白うた青うたフェスティバル

in 鎌倉

### \*西鎌倉混声コーラス

平成二十四年九月三十日

鎌倉芸術館大ホール

### \*円混声合唱団

平成二十四年十一月

県立音楽堂

神奈川県合唱祭

### \*ムジカおさらぎ

平成二十四年十二月二日

白うた青うたフェスティバル

in 鎌倉

### \*大船混声合唱団

鎌倉芸術館大ホール

### \*西鎌倉混声コーラス

戸塚混声合唱団

平成二十四年十月二十七日

鎌倉芸術館大ホール

鎌倉芸術団五十周年記念演奏会での合同演奏会

# 平成二十四年度 事業計画について

平成二十四年度年次総会が一月三十一日に開催され、平成二十三年度の事業報告、会計報告及び平成二十四年度の事業計画、会計予算が全員賛成で可決されました。本号ではその内の平成二十四年度事業計画の一部をお知らせします。各団の活動計画の参考になれば幸いです。

六月下旬 第四十八回定期演奏会  
の為の代表者会、出演  
順の決定他

七月上旬 第四十八回定期演奏会  
の為の準備会、参加費  
納入

機関紙「えっせんす」  
第二十八号発行予定

七月二十九日(日) 第四十八回定期演奏会・鎌倉芸術館  
大ホール講師を依頼する

九月中旬 第五十四回市民合唱祭  
の為の代表者会、出演  
順の決定

十月中旬 第五十四回市民合唱祭  
の準備会・参加費納入

十一月四日(日) 第五十四回鎌倉市民合唱祭・芸術館  
大ホール

その他、合唱連盟ホームページの活用について、又演奏会の音源の引き渡し時期について意見交換が行われた。

二〇一一年十二月末現在の加盟団体数は五十一団体、会員総数は一四一八名でした。

## 名義後援について

名義後援は鎌倉合唱連盟加盟各団体が主催する事業(演奏会、講演会、講習会等)について、合唱連盟が趣旨に賛同し、名義の使用を承諾するものです。

毎年多くの団体から依頼を受けて承認しており、昨年開催の演奏会には十一件の申入れがありました。内容は左記の通りです。

(混) ムジカおさらぎ 第二十六回定期演奏会 二十三年四月  
鎌倉芸術館大ホール

クール百音 演奏会 二十三年六月  
みなとみらい小ホール  
女声合唱団ラルゴ 演奏会  
二十三年六月 生涯学習センターホール

女声合唱かまくらの風  
フラウエンコア・ヴォンネ  
合同演奏会 二十三年六月  
カトリック由比ガ浜教会  
鎌倉女声コール 演奏会 二十三年七月 生涯学習センター

ジュニア合唱団なぎさ道 第八回定期演奏会 二十三年九月  
芸術館大ホール

女声合唱団「松」 第八回コンサート 二十三年十月 芸術館大ホール  
フラウエンコア・ヴォンネ

第二回演奏会 二十三年十一月  
みなとみらい小ホール  
ぶどうの会 第七回チャリティーコンサート 二十三年十一月  
逗子「なぎさホール」

MUSEミュージズ ミューズのウインターコンサート 二十三年十二月  
生涯学習センター

鎌倉アートフォーラムS 第十二回白い歌青い歌フェスティバル in 鎌倉 二十三年十二月  
芸術館大ホール

平成二十四年開催の演奏会では三月末現在で、左記七件の依頼があります。各団におかれましては、今後名義後援制度を利用されま

すようお願いいたします。  
アートフォーラムS 東北大震災チャリティー つぶてソングの集い 二十四年三月 建長寺

女声合唱団ミモザの会 合唱の日 二十四年三月 生涯学習センターホール

大船混声合唱団 第十三回定期演奏会 二十四年四月 芸術館大ホール

コール・モア 気まぐれコンサートⅢ 二十四年四月 生涯学習センターホール

由比コーラス 第二十五回定期演奏会 二十四年五月 生涯学習センターホール  
クール百音 演奏会 二十四年五月 田覚寺

鎌倉市民混声合唱団 第二十六回定期演奏会 二十四年七月 生涯学習センターホール

## 編集後記

機関誌「えっせんす」第二十八号をお届けします。あの大震災から一年。桜は咲き季節は何も変わらず確実に過ぎていきます。生と生けるもの万物の生命力の強さを感じさせます。さて鎌倉合唱連盟では、被災地に桜の苗木を植えるというプロジェクトに、皆様からの義援金を寄付いたしました。何年か後にその木々たちが満開の花を咲かせる時、被災地の方々にも又花に心を慰められ、失った親しい人々や景色を思い、心が癒される事を、願ってやみません。  
細村 和子

えっせんす 第二十八号  
二〇一二年六月 発行

発行責任者

鎌倉合唱連盟理事長

児島 百代

印刷所 F・フタバヤ